



理学療法士の処遇改善・賃上げ実現に向けて

2024年のトリプル改定に向けては、過去20年間にわたる理学療法士の賃金の低迷、加えて、昨今の物価上昇での実質賃金の低下を巡って、力強く頻度の高い要望を行ってきました。

田中まさし議員を中心に、日本理学療法士協会を始めとする三協会、日本作業療法士連盟とも、しっかりと連携を図り、関係各所に理学療法士の意向を伝えました。

要望のプロセスは、①三協会の要望事項の整理。それをもって②主要議員へのお願い。

③自由民主党厚生労働会内の「リハ小委員会」への議員の出席・発言・同調の依頼。

④自民党政調全体会への出席・発言・同調の依頼。終盤では、⑤鈴木俊一財務大臣を会長とする

「リハビリテーションを考える議員連盟」(約170名が入会)の総会決議をえて、本年に入り、

⑥武見敬三厚生労働大臣、鈴木俊一財務大臣を始めとした、主力となる多くの国会議員に要望を重ねたところです。

その結果、リハ職に対する「処遇改善」が6月から実施されるものの、一般企業と比較した場合、まだまだ十分とは言えません。次回の改定にも関わるこの弱点はどこにあるのか。それは47都道府県における連盟の会員数が少ないことです。

本年はこの増強に向けて、都道府県連盟と日本連盟はあらゆる努力をしていきます。是非とも、都道府県の連盟に入会いただき、一人でも多くの会員を増やすこと、これこそが、自分たちの待遇を上昇基調に向かわせることだとご理解いただきたく思います。

「国家が何をしてくれるのかではなく、自分が何を出来るのかを考えて欲しい(アメリカ合衆国第35代大統領 ジョン・F・ケネディー)」



鈴木俊一財務大臣 (リハビリテーションを考える会会長)と面談

▶自由民主党厚生労働部会 「リハビリテーションに関する小委員会」



令和5年11月17日

▶武見敬三厚生労働大臣へ要望書提出

▶公明党 山本香苗 参議院議員 (理学療法士制度推進議員懇話会 会長)



予算委員会にて報酬改定プラス改定と確実な賃上げに繋がる仕組みについて答弁

▶鈴木俊一財務大臣へ要望書を提出

▶自由民主党 国光あやの 衆議院議員 (リハビリテーションを考える議員連盟 事務局次長)



▶「リハビリテーションを考える議員連盟」第8回総会

会長 山根 一人



令和5年12月6日

理学療法士連盟 活動報告

令和6年度 通常総会

令和5年度の事業総括として、トリプル改定において多くの国会議員の皆さまの協力をお願いした事は、都道府県連盟が地元国会議員との密な連携が図られた賜物である事に敬意が表されました。

次期参議院議員選挙に向けた組織力強化のため当連盟と都道府県連盟の協働を邁進、都道府県連盟が地元国会議員・地方議員とのさらなる関係の構築など、活発な意見交換がなされ有意義な会となりました。

都道府県連盟会長会



令和5年12月9日

研修会と理学療法の未来を語る会



令和6年2月9日



令和6年2月10日

詳しくは 公式HPを Check

各地域において理学療法を取り巻く様々な課題があります。その課題解決に向けて、今回、地方議員との間で理学療法を考える議員連盟を設立された東京都県理学療法士連盟の取り組みをご紹介します。

東京都理学療法士連盟の取り組み 会長 原島宏明

2023年12月20日に都庁にて『東京都の理学療法を考える議員連盟』が設立されました。呼びかけ人は東京都議会議員の早坂義弘氏。設立趣意書には現法における理学療法の対象者は、「身体に障害のある者」と限定されており、その専門性を活かした活動範囲が十分に展開できない側面がある。



Check Point!

- フレイル予防・ロコモティブシンドローム・メタボ対策
運動の重要性は周知の事実だが、理学療法士は「健康な者」を対象としていないため、特定検診・保健指導では理学療法士の参加が大きく制限されている。
- 急性期から回復期、生活期と連続したリハビリテーションの提供
病気になっても住み慣れた地域でその後の人生を過ごすことが身体的・心理的な健康維持増進に寄与するが、その人らしい在宅生活を再獲得あるいは維持するため、生活期リハビリテーションにおいて重要なサービス提供となる「理学療法士等リハビリ専門職の訪問リハビリテーション」施設設置は、理学療法士には認められていない。
- 「災害・防災対策について被災都民への支援参画」「地域包括ケアシステム・地域リハ活動支援」「学校における運動器検診体制の整備スクールトレーナー制度の活用」「エスカレーターマナーアップ推進」など理学療法士の専門性を社会に還元できる領域は多数あるが、現法における理学療法士の法的立場が障壁となっている。

会長 早坂義弘 (都議会議員・杉並区)
副会長 鈴木章浩 (都議会議員・大田区)
副会長 原島宏明 (都連盟会長)
幹事長 小松大祐 (都議会議員・世田谷区)
幹事長補佐 渡邊要一 (都連盟会長代行)
幹事 星大輔 (都議会議員・町田市)
幹事補佐 渥美幹子 (都連盟副会長・女性局長)
事務局長 浜中義豊 (都議会議員・西東京市)
事務局長補佐 豊田 輝 (都士会副副会長)



こうした背景より都民の健康への予防・安心を図るため理学療法士の担える活動範囲について、議員連盟を設立することにより考えていく事といたしました。今後は9月に総会を開催し、2023年統一地方選挙で応援いたしました区・市議会議員(30名)も招聘してオール東京で理学療法士の抱える様々な課題をお伝えし、より良い方向へ向かうように努力してまいります。役員は本来ならば議員による構成ですが、会長より「一緒に進めましょう」という事で理学療法士会・連盟も参加することになりました。

青年局

青年局長 藤本太郎



今期青年局は、局長藤本太郎と共に、都道府県の青年局長と協力メンバー(33名)で活動しています。全国の若手理学療法士や学生の方々に日々の困りごとを解決する、明日がワクワクするような話題提供を行うこと、また連盟活動を知っていただくことを目的に活動しております。主に毎月、研修会を開催しています。今期、すべての県に青年局を設置されることが目標です。私たちと共に活動したい方は、ぜひ当連盟にお問合せください。

女性局

女性局長 河合麻美



今期女性局は局長河合と共に全国に36名のメンバーが活動しています。毎月のオンラインミーティングや、Zoomでのセミナー開催の他、コロナ禍が明けて再開された現地開催での総会や研修会での交流を行っています。政治と言うと堅苦しい印象があるかと思いますが、全国の仲間と理学療法士の明るい未来を求めて楽しく活動しています。新しい仲間も随時募集してます!

理学療法士連盟
公式 SNS

フォローをお願いします!!



理学療法士連盟
公式 HP



自分たちの未来は
自分たちで!

日本理学療法士連盟 公式ホームページ
<https://pt-renmei.jp>